

■アドミッション・ポリシー

国際教養学科は、カリキュラム・ポリシーで定める教育内容を修め、ディプロマ・ポリシーで定める基準に達する見込みがある者として、次のような人物を求める。

知識・技能	●コミュニケーションのツールとして、英語、中国語または朝鮮語の修得を目指す人。 ●国際社会にふさわしい教養とマナーを身につけようとする人。
思考力・判断力・表現力等の能力	●社会および経済の発展、観光、防災、環境問題、地域の活性化などに関して関心を持ち、政策企画・立案・実施できる能力を身につけようとする人。
主体性・多様性・協働性	●アジア・太平洋地域を始め国際的な場において、人々と協力しながら自分の力を発揮できるよう努力する人。 ●海外留学や国内外のさまざまな体験学習に積極的に参加する意欲のある人。

学科独自課題のテーマおよび評価ポイント

小論文型

小論文テーマ：
学習活動について
これまで校内または校外で行った学習活動の一つ挙げて、以下の3つのポイントについて述べなさい。
①学習活動の概要（校内・校外の区別、目的・場所など）
②自己の役割、他者との協力・交流
③学んだこと、今後に活かしていきたいこと
（解答時間90分／文字数1,000字以内）

評価ポイント

1. 構成・形式：設問に示された3つのポイントに注意して組み立てられている。指定された文字数を守っている。
2. 内容：3つのポイントを理解し、具体的な説明によって論理的に述べられている。
3. 表現方法：表現の正確さ、分かりやすさ、誤字・脱字に注意して表現できている。

活動アピール型

（アピール：10分／質疑応答：5分）

評価ポイント

1. アピール内容の構成力と表現力
2. 口頭発表における説明の的確性
3. 質疑に対する明解な応答

活動アピール型（スポーツ特別選抜）

（アピール：8分／質疑応答：7分）

評価ポイント

1. 高校時代の活動状況について分かりやすく発表できているか。
2. スポーツを通じて学んだことや身についたことを、具体例を挙げながら説明できているか。
3. スポーツを通じて得た経験を入学後の学生生活にどのように生かしていきたいかが述べられているか。

自己推薦書および面接の評価ポイント

自己推薦書

1. 国際教養学科を志望する理由
2. これまでの学習成果、社会活動（ボランティア活動など）、課外活動
3. 本学科のアドミッション・ポリシーとの整合性

講義受講型

講義テーマ：
国際教養学の学びについて
（講義30分／レポート作成60分）

レポートに対する評価ポイント

1. 講義内容を明確に記述することができる。
2. 自分の意見を論理的に伝えることができる。
3. 適切な日本語で文章表現ができている。

探究学習発表型

（発表：10分／質疑応答：5分）

評価ポイント

1. 発表内容の構成力と表現力
2. 課題に関する情報収集・調査への取り組みや工夫
3. 口頭発表における説明の的確性
4. 質疑に対する明解な応答

面接

1. 国際教養学科で学びたいという意欲
2. 世界や地域の動きやニュースに関する基礎知識
3. コミュニケーションを積極的に行おうという姿勢
4. 多様な環境の中で他者と協働して主体的に課題に取り組もうとする姿勢